

取材に伺ったとき「みやちゃんおる？」と友達と宿題をしたり各々の時間を過ごしてやって来たりする子どもたちと「おかえりい」とにこにこ迎える西尾さんの姿から、あの日の問いの答えが伝わってくるようでした。なんだか懐かしくて少しうるつときてしまうほっこり空間の新生「アグリステーション丹波ささやま」でした。



リポーター 小山美樹さん

一般社団法人  
**アグリステーション  
丹波ささやま**

住所 丹波篠山市小枕93  
電話番号 556-5997  
営業時間 火～金曜日、第1土曜日  
11:00～18:00  
※カフェは16時まで。



人が好き まちが好き  
**街かど  
Report**



一緒につくろう！ここからつくろう！

# みんなの居場所

## アグリステーション丹波ささやま

2016年のオープン以来、市民はもちろん市外の方も多く訪れる、愛されスポット「アグリステーション丹波ささやま」がこのたびリニューアル！さらにすてきになったこの場所の魅力と、代表理事の西尾雅子さんが抱く地域・子どもたちへの大切に温かい思いをお伝えします。

### コワーキングスペース



友達と一緒に勉強も！

利用者の声/  
学校の宿題をするのに利用しています。カプセルホテルに泊まった気分になれてとても気に入っています。

### 子どもの秘密基地 パオ



利用者の声/  
初めての友達とも秘密基地の中で仲良くなっていて、自発的に遊んでくれます。子どもだけの特別な空間です。

### キッズステーション



ポレダリングが大人気！

利用者の声/  
走り回れるスペースのそばに授乳室があるので、赤ちゃんとお子さんを一緒に連れてこられてありがたいです。

### CAFE & 雑貨 HOKKORI



からだにやさしいメニュー

利用者の声/  
隣で子どもが遊べるので、親もゆっくり食べられます。土足じゃないのもうれしいポイントです。

## みんなに優しいほっこり空間

**子ども第三の居場所**

ある日、一人の少年が西尾さんに問いかけます「おれらここで遊んだり迷惑？」と。

「思い切り遊べる場所はここにあるよ」と伝えられるように、「のびのび自由に過ごしていいんや」と子どもたちが思えるように。そんな思いから居場所づくりが始まりました。

しかし居場所を維持するには莫大な費用が必要で、「従業員を守るために諦める...」そんな思いもよぎったそう。そんなときに日本財団の**子ども第三の居場所**という活動を知りました。この活動は、子どもが安心して過ごせる環境で「生き抜く力」を育むため、居場所となる施設へ運営助成などの支援をされているものです。

西尾さんは、アグリを子ども第三の居場所にするために奮闘。支援への採択までの緊張の日々を半年、改修工事終了までの9カ月、多くの時間とエネルギーを費やされました。「支えてくれた皆さんの優しさを、今度は私が循環させる番です！」と温かい笑顔で話されました。

自らも4人の子どもの育てる西尾雅子さん。小さい子とママたちがゆったり過ごせる居場所づくりをたくたくアグリステーション丹波ささやま（以下、アグリ）のプロデュースを開始されました。

カフェには、からだに優しくおいしいキッズメニューはもちろん、おむつ替えスペースや授乳室、カフェとつながる広いキッズステーションなどどれも子育てママが求めるモノばかり。このたび、さらにかわいく、使いやすく、ほっこり温かくなった店内。あなたのお気に入りを見つけよう！

また、アグリは学びの場でもあります。ネイティブ講師による英会話教室をはじめ、レンタルスペースで市民の方が開く親子体操教室や、ママの心と身体に寄り添うママヨガなどの教室があります。また、ピザ窯やおくどさん、農業体験などを通して生きる知恵も学べます。奥の coworkingスペースはみんなが心惹かれるすてき空間！宿題や読書もかどること間違いなしです。



一般社団法人アグリステーション丹波ささやま  
代表理事 西尾雅子さん